

法要 報恩講 御正会

2025年(令和7年)
西本願寺



【清注意】

防災センター【直通：075-371-5191】

- 気分が悪くなったり、けがをされた時
- 落し物を拾われた時、落し物をされた時
- 不審者・不審物を発見された時

最寄りの係員、または防災センターまでご連絡ください。

【清注意】

- = 車椅子対応施設 (北堀川地区以外)
- = 車椅子対応エレベーター
- = オストメイト対応トイレ(多目的トイレ)
- = AED(自動体外式除細動器)設置場所
- = Wi-Fi電波受信建物
- = 喫茶・食事処

※P.13・14に法要・行事等の詳細を記した境内案内図を掲載いたしておりますので、そちらも併せてご参照ください。

恩徳讃

如来大悲の恩徳は

身を粉にしても報ずべし

師主知識の恩徳も

ほねをくだきても謝すべし

目次

恩徳讃	1
ご挨拶 〈浄土真宗本願寺派総長 石上 智康〉 〈本願寺執行長 武田 昭英〉	3
「私たちのちかい」についてのご親教	5
親鸞聖人御誕生八百五十年 立教 開宗 八百年 についての消息	7
浄土真宗の教章(私の歩む道)	9
御正忌報恩講法要 全日程表	11
御正忌報恩講法要 境内案内図	13
法要日程(9日～16日)	15
お 斎	16
御法楽献詠入選歌	20
通夜布教(15日～16日)	25
御正忌報恩講法要期間中の関連行事	26
親鸞聖人のご生涯(御絵伝解説)	32
帰敬式	41
免物	42
本願寺よりのご案内	43
日曜レクチャー(日曜講演)／お西さんを知ろう！／お茶所説法 Shiratsuyu Day／お西さんホームページ・公式ツイッター	45
大谷本廟	46
日野誕生院／角坊	47
2020(令和2)年 本願寺の法要行事日程	48
領解文／報恩講の歌	49
阿弥陀堂内一部閉鎖／御影堂の荘厳について／国宝修復情報	50
御正忌報恩講法要期間中の仏華と荘厳具・御供物の展示	50

2020(令和2)年 御正忌

報恩講

法要

報恩講は、親鸞聖人のご遺徳を偲び、その

ご苦勞を通じて、阿弥陀如来のご本願によるお救いを

あらためて心に深く味わわせていただく法要です。

親鸞聖人の三十三回忌のご法要にあたり、本願寺第三
代覚如上人がそのご遺徳を讃仰するため『報恩講
私記』をご制作になられ、以来、聖人のご命日の法要
は報恩講として、大切にお勤めされてきました。

本願寺第八代蓮如上人がお示しのとおり、正しく
お念仏のいわれを聞かせていただき、身にいただく
ことが聖人の御恩に報いる道です。

報恩講は、一月九日から十六日までお勤めいたし
ております。お念仏の道をお示しいただいた親鸞聖人
のご遺徳を偲ばせていただき、お念仏に遇えた喜び
をこの身に受け、共々にお念仏申しましょう。

御正忌報恩講法要をお迎えして

浄土真宗本願寺派総長

石上 智康

本願寺執行長

武田 昭英

本日は厳しい寒さのなか遠近各地より、「御正忌報恩講法要」にようこそご参拝くださいました。

「御正忌報恩講法要」は、浄土真宗のみ教えに導かれ、報恩感謝の生活を送る私たちにとって最も大切な法要です。あらためて宗祖親鸞聖人のご遺徳を偲び、お念仏の道を歩ませていただきましょう。

親鸞聖人が生きられた時代は、戦乱や天災地変が相次ぎ、多くの人びとが世の無常を痛感し、救いの道を求めました。そのような時代の中で聖人は、阿弥陀如来のご本願によって生死出ずべき道をめぐまれ、真実信心ひとつで凡夫のまま、そのまま救

われる浄土真宗のみ教えを明らかにされ、仏恩報謝のお念仏申す人生を生き抜かれました。

ご門主様はご親教「念仏者の生き方」で「仏法を依りどころとして生きていくことで、私たちは他者の喜びを自らの喜びとし、他者の苦しみを自らの苦しみとするなど、少しでも仏さまのお心になう生き方を目指し、精一杯努力させていただく人間になるのです」とご教示になり、その肝要を「私たちのちかい」の四力条にまとめられました。さまざまな機会でご唱和いただき、仏さまのお心を生きる依りどころとしていただきました。

宗門では来たる令和五年にお勤めする「親鸞聖人御誕生八百五十年立教開宗八百年慶讃法要」の推

進体制がいよいよ本格的に始動いたしました。この尊いご勝縁に向けて、親鸞聖人が明らかにされた浄土真宗のみ教えに遇い得たことを喜び、み教えを一人でも多くの方にお伝えし、自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献するため、精いつぱい努めさせていただきますように。

合掌

「私たちのちかい」についてのご親教

私は伝灯奉告法要の初日に「念仏者の生き方」と題して、大智大悲からなる阿弥陀如来のお心をいただいた私たちが、この現実社会でどのように生きていくのかということについて、詳しく述べさせていただきました。このたび「念仏者の生き方」を皆様により親しみ、理解していただきたいという思いから、その肝要を「私たちのちかい」として次の四カ条にまとめました。

わたし 私たちのちかい

一、自分の殻に閉じこもることなく
穏やかな顔と優しい言葉を大切にします
微笑み語りかける仏さまのように

一、むさぼり、いかり、おろかさに流されず
しなやかな心と振る舞いを心がけます
心安らかな仏さまのように

一、自分だけを大事にすることなく
人と喜びや悲しみを分かち合います
慈悲に満ちみちた仏さまのように

一、生かされていることに気づき
日々精一杯つとめます
人びとの救いに尽くす仏さまのように

この「私たちのちかい」は、特に若い人の宗教離れが盛んに言われております今日、中学生や高校生、大学生をはじめとして、これまで仏教や浄土真宗のみ教えにあまり親しみのなかった方々にも、さまざまな機会で唱和していただきたいと思っております。そして、先人の方々が大切に受け継いでこられた浄土真宗のみ教えを、これからも広く伝えていくことが後に続く私たちの使命であることを心に刻み、お念仏申す道を歩んでまいりましょう。

二〇一八（平成三十）年十一月二十三日

浄土真宗本願寺派門主 大谷光淳

※このご親教は、二〇一八年「秋の法要」にてお示しくございました。

親鸞聖人御誕生八百五十年 立教開宗八百周年についての消息

来る二〇二三年には、宗祖親鸞聖人のご誕生八百五十年、また、その翌年には立教開宗八百年にあたる記念すべき年をお迎えするにあたり、二〇二三年に慶讃法要をお勤めいたします。

親鸞聖人は承安三年・一一七三年にご誕生となり、御年九歳で出家得度され、比叡山で修行を重ねられました。二十九歳の折、山を下りて法然聖人の御弟子となられ、阿弥陀如来の本願念仏の世界に入られました。その後、専修念仏停止によって越後にご流罪になられ、赦免の後、関東に赴かれて他力念仏のみ教えを人々に伝えられるとともに、『教行信証』の執筆にとりかかられました。他力念仏のみ教えがまとめられた本書は、浄土真宗の根本聖典という意味でご本典と呼ばれています。そして、そのご本典の記述によって、その成立を親鸞聖人五十二歳の時、すなわち元仁元年・一二二四年とみて、この年を立教開宗の年と定めています。

仏教は今から約二千五百年前、釈尊が縁起や諸行無常・諸法無我というこの世界のありのままの真実をさとられたことに始まります。翻って私たちは、この執われのないうおさとの真実に気づくことができず、常に自分中心の心で物事を見て、悩み、悲しみ、あるいは他人と争ったりしています。釈尊は、このような私たちをそのままに

救い、おさとの真実へ導こうと願われたのが阿弥陀如来であることを教えてくださいました。そして、親鸞聖人は、この阿弥陀如来の願いが、南無阿弥陀仏のお念仏となつてはたらく続けてくださっていることを明らかにされたのです。

ありのままの真実に基づく阿弥陀如来のお慈悲でありますから、いのちあるものすべてに平等にそそがれ、自己中心的な考え方しできない煩惱具足の私たちも決して見捨てられることはありません。その広大な慈悲を思うとき、親鸞聖人が「恥づべし傷むべし」とおっしゃったように、阿弥陀如来のお心とあまりにもかけ離れた私たちの生活を深く慚愧せざるをえません。しかし、この慚愧の思いは、阿弥陀如来の悲しみを少しでも軽くすることができればという方向に私たちを動かすでしょう。

それは、阿弥陀如来の願いを一人でも多くの人に伝え、他人の喜び悲しみを自らの喜び悲しみとするような如来のお心になう生き方であり、また、世の安穩、仏法弘通を願われた親鸞聖人のお心に浴う生活です。み教えに生かされ、いよいよお念仏を喜び、すべてのいのちあるものが、お互いに心を通い合わせて生きていけるような社会の実現に向け、宗門総合振興計画の取り組みを進めながら、来るべき親鸞聖人ご誕生八百五十年ならびに立教開宗八百年の慶讃法要をともにお迎えいたしましょう。

平成三十一年 一月九日
二〇一九年

浄土真宗の教章（私の歩む道）

宗名 浄土真宗

宗祖 親鸞聖人

（ご開山）

ご誕生 一一七三年五月二十一日

（承安三年四月一日）

ご往生 一二六三年一月十六日

（弘長二年十二月二十八日）

宗派 浄土真宗本願寺派

本山 龍谷山 本願寺（西本願寺）

教義 阿弥陀如来の本願力によって信心を

めぐまれ、念仏を申す人生を歩み、この世の縁が尽きるとき浄土に生まれて仏となり、迷いの世に還って人々を教化する。

生活 親鸞聖人の教えにみちびかれて、阿弥陀如来のみ心を聞き、念仏を称えつつ、

つねにわが身をふりかえり、慚愧と歡喜のうちに、現世祈禱などにたよる

本尊 阿弥陀如来（南無阿弥陀仏）

聖典 釈迦如来が説かれた「浄土三部経」

『仏説無量寿経』

『仏説観無量寿経』

『仏説阿弥陀経』

・宗祖 親鸞聖人が著述された主な聖教

『正信念仏偈』

『教行信証』行卷末の偈文

『浄土和讃』 『高僧和讃』

『正像末和讃』

・中興の祖 蓮如上人のお手紙

『御文章』

宗門

この宗門は、親鸞聖人の教えを仰ぎ、念仏を申す人々の集う同朋教団であり、人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を伝える教団である。それによって、自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する。

ことなく、御恩報謝の生活を送る。

5:00	5:00	5:00	5:00	5:00	5:00	5:00	5:30	開門				
17:00	19:30	17:00	17:30	17:00	17:00	17:00	17:00	閉門				
16日(木)	15日(水)	14日(火)	13日(月・祝)	12日(日)	11日(土)	10日(金)	9日(木)	場所	行事	時間	法要	
小経(漢音) 正信偈 (真譜)	小経(呉音) 往生礼讃偈 (日中)	小経(呉音) 往生礼讃偈 (晨朝)	小経(呉音) 往生礼讃偈 (後夜)	小経(呉音) 往生礼讃偈 (中夜)	小経(呉音) 往生礼讃偈 (初夜)	小経(呉音) 往生礼讃偈 (日没)		御影堂	勤行 帰敬式	6:00~ 晨朝後	晨朝	
	○	○	○	○	○	○		総会所	常例布教	8:10~ 20分間		
小林 顯英 師	小林 顯英 師	小林 顯英 師	小林 顯英 師	栗原 一乗 師	栗原 一乗 師	栗原 一乗 師		御影堂	御堂布教	9:30頃~ 10分間		
報恩講作法 (御満座)	五会念佛 作法	正信念佛偈 作法第三種	二門偈作法	奉讃大師 作法	宗祖讃仰 作法	二門偈作法		御影堂	法要	10:00~	日中	
	大竹 輝道 師 ※手話通訳有	春野 恵子 師	山本 攝叡 師	高橋 昭人 師	武田 宏道 師			総会所	特別講演	11:10~ 40分間		
	★D ○	○	○	○	★A ○	※10日のみ 12:30~		鴻書院 お斎 お茶所	お斎 ★ 帰敬式	日中法要後 12:00~ 13:00~		
※16日のみ 13:30~	○	○	○	○	○	○						
			★C	★B				御影堂	御堂布教	13:30頃~ 10分間		
小林 顯英 師 ※手話通訳有	小林 顯英 師	小林 顯英 師	小林 顯英 師	栗原 一乗 師	栗原 一乗 師	栗原 一乗 師		御影堂	法要	14:00~	速夜	
広文類作法	大師影供作法	宗祖讃仰作法 (音楽法要)	浄土法事讃作法	正信念佛偈 作法第三種	奉讃大師作法	大師影供作法			速夜法要に 引き続き			
ご門主様ご親教 ※手話通訳有	御俗姓拝読							御影堂	勤行	15:30~	初夜	
★E ※15日のみ 18:00~ 正信偈(斎) 改悔批判 正信偈(非時)	正信偈(斎) 改悔批判 正信偈(非時)	正信偈(斎) 御仁記拝読 正信偈(非時)	正信偈(斎) 改悔批判 正信偈(非時)	正信偈(斎) 改悔批判 正信偈(非時)	正信偈(斎) 改悔批判 正信偈(非時)	改悔批判		御影堂	勤行	初夜終了後	日没	
重誓偈 正信偈	重誓偈 正信偈	重誓偈 正信偈	重誓偈 正信偈	重誓偈 正信偈	重誓偈 正信偈	重誓偈 正信偈		総会所	御絵伝解説	18:15~ 35分間		
通夜布教 ★F	小林 顯英 師	小林 顯英 師	小林 顯英 師	栗原 一乗 師	栗原 一乗 師	栗原 一乗 師		総会所	常例布教	19:00~ 40分間		

2020(令和2)年
御正忌報恩講法要
全日程表

9日 速夜法要~16日 日中法要

関連行事

- ☆… 11日(土)・12日(日)・13日(月・祝) 12:00~12:30
御正忌報恩講 京の文化体験 1・2・3 【お茶所】
 - ★A… 11日(土) 11:30~
第68回 本山成人式 【御影堂】
 - ★B… 12日(日) 13:20~
御法楽献詠入選者表彰式 【御影堂】
 - ★C… 13日(月・祝) 13:20~
第63回全国児童生徒作品展表彰式 【御影堂】
 - ★D… 15日(水) 11:50~
講社懇志進納講並びにご消息ご披露式 【御影堂】
 - ★E… 15日(水) 16:00~
御正忌報恩講奉讃演奏会 【聞法会館3F 多目的ホール】
 - ★F… 15日(水) 19:00~16日(木) 5:40
通夜布教 【聞法会館(1F総会所・3F多目的ホール)】
- 12日(日)〈第1部〉12:30~13:35 〈第2部〉15:30~16:30
第13回本願寺史料研究所公開講座【聞法会館3F 多目的ホール】
※要事前申込につき、所務部〈文書担当〉にご確認ください

お頭人
お頭人とは、御正忌報恩講法要中における初夜勤行(斎、非時の勤行)に正信偈を勤める調声人のことで、喚鐘が鳴り終わり、係の者(承仕)が外陣で「お頭人!お頭人!」と大きく呼ぶ声が御堂中に響き渡ると、お勤めが始まります。



2020 (令和2)年

「御正忌報恩講法要」

境内案内図

(時間変更の場合もあります)



龍谷大学
大宮学舎
本館

- 法要 晨朝 (6時)
日中 (10時)
速夜 (14時)
初夜 (15時30分※15日は18時)
- 11日 本山成人式
- 12日 御法楽献詠入選者表彰式
- 13日 全国児童生徒作品展表彰式
- 15日 講社懇志進納講並びにご消息ご披露式
- 15日 ご門主様ご親教(速夜法要に引き続き)
- 御堂布教 (P.15)
- 帰敬式 (P.41)

- 矯正展〈キャピック展〉
- 東日本大震災被災地物産展
- 11~13日 あずき粥接待
- 13日 ビハーラ総合施設バザー

- 全国児童生徒作品展
- ビハーラ総合施設パネル展

- 御影堂荘厳具・仏華
供物等の展示 (P.50)

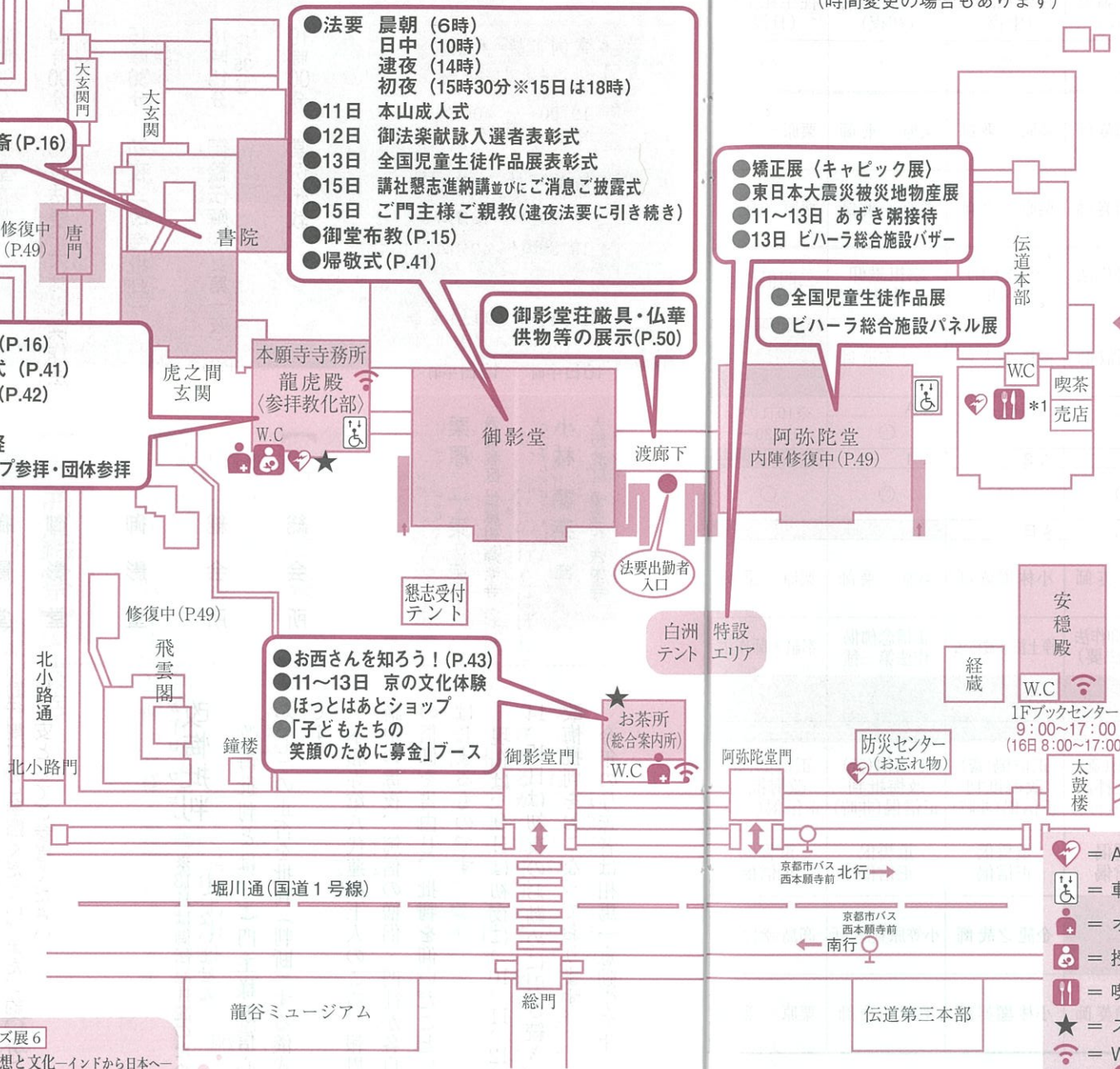
- 時刻表 (P.45)
- 1F 人権パネル展
 - 1F 聞法会館写真コンクール
 - 1F 矯正展〈キャピック展〉
 - 3F 15日 奉讃演奏会 (P.24)
 - 3F 15~16日 通夜布教 (P.25)

- 聞法会館 (1F 総会所)
- 1F 売店
 - B1F 食事処
 - W.C.
 - あそか診療所
 - Net線事務所 IIPPO
 - 門徒会館 (勤式指導所)
 - 京阪バス 西本願寺バス停

- 常例布教 (P.15)
- 9~12日 (18時15分) 御絵伝解説
- 11~15日 (11時10分) 特別講演
- 15~16日 通夜布教 (P.25)

- お西さんを知ろう! (P.43)
- 11~13日 京の文化体験
- ほっとはあとショップ
- 「子どもたちの笑顔のために募金」ブース

- 10~15日 お齋 (P.16)
- 受付 お齋 (P.16)
帰敬式 (P.41)
免物 (P.42)
懇志
永代経
グループ参拝・団体参拝



- ♥ = AED (自動体外式除細動器) 設置場所
 - ♿ = 車椅子対応エレベーター
 - ♿ = 喫煙所 (北境内地に1ヵ所)
 - ♿ = オストメイト対応トイレ (多目的トイレ)
 - 👶 = 授乳室
 - 🍴 = 喫茶・食事処
 - ★ = スタンプ
 - 📶 = Wi-Fi電波受信建物
- SSID : Wi2_free
- *1 紫雲 7:30~16:30
*2 矢尾定 7:00~9:00
11:00~14:00
17:30~21:00
※15日のみ 7:00~9:00
11:00~22:00

シリーズ展6
仏教の思想と文化—インドから日本へ—
特集展示：仏像ひな型の世界
10:00~17:00 (受付~16:30)

御正忌報恩講法要(日程)

9日

木

開門 5:30 閉門 17:00

帰敬式(御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

13時30分頃 御堂布教

御影堂

14時00分 (約45分) 速夜法要 大師影供作法

御影堂

15時30分 (約25分) 初夜〔改悔批判〕

御影堂

18時15分 (約35分) 御絵伝解説〔第一夜〕 P.33

總會所

19時00分 常例布教

總會所

●常例布教〈総会所〉
8:10～ 20分間
19:00～ 40分間
※15日は通夜布教

●御堂布教〈御影堂〉
9:30頃～ 10分間
13:30頃～ 10分間

12日午後
～
16日午前

小林 顯英 師
大阪教区 榎並組 法栄寺

9日午後
～
12日午前

栗原 一乗 師
備後教区 世羅組 浄楽寺

経文については、別冊の『御正忌報恩講 動行集』をご参照ください。また、(約〇分)は目安としてご参考ください。



改悔批判

※13日は御伝記拝読のためおこないません。

改悔批判とは、ご門主様が信心(安心)の正否を批判(判断)する儀式です。

本願寺第八代蓮如上人のころ、報恩講中の毎夜、篤信の僧侶・門徒が各自の信仰を告白し、批判を仰いだことにはじまるものです。

現在は、9日は初夜に、10、11、12、14、15日は初夜のお勤めに引き続き、改悔批判をおこなっております。

今年の与奪者は相馬一意勸学です。

要申込

お齋

とき



仏教では、『食事』と呼ばれる、午前十時から正午までの間に食事をする習わしがあり、このときの料理を『齋』といいます。

本願寺では、毎年一月十日から十五日まで、日中法要終了後にお齋の接待を国宝の書院(鴻之間)にておこなっています。

本願寺でのお齋は、動物性の食材は一切用いず、一汁五菜を基本にした精進料理で、蜜柑(和歌山有田北組の皆様がご進納)と「本願寺せんべい」(お供えしております御仏飯を使用)を土産にお持ち帰りいただけます。

お申込みについては、お気軽に参拝教化部までおたずねください。

・お一人様につき一万元以上のご懇志に対するお扱いとなります。



とき ● 1月10日(金)～15日(水)、日中法要終了後12時～

※10日のみ12時30分～

ところ ● 書院(鴻之間)

全席椅子席

担当部 参拝教化部 (龍虎殿1階) ※以下ページ担当部は で表記

10日

金

開門 5:00 閉門 17:00

帰敬式 (御影堂)
午前 晨朝後 午後 13:00

6時00分	晨朝	御影堂
8時10分	常例布教	總會所
9時30分頃	御堂布教	御影堂
10時00分	日中法要	御影堂
(約45分)	二門偈作法	
13時30分頃	御堂布教	御影堂
14時00分	連夜法要	御影堂
(約50分)	奉讃大師作法	
15時30分	初夜〔正信偈〕	御影堂
(約60分)	引き続き改悔批判	
18時15分	御絵伝解説〔第二夜〕	總會所
(約35分)		
19時00分	常例布教	總會所

御絵伝解説

總會所の大型スクリーンに映写した「御絵伝」を、布教研究専従職員が四夜連続して場面ごとに解説いたします。

絵の中に描かれた宗祖親鸞聖人のご生涯を紐解いてゆく中に、ご遺徳を偲ばせていただきます。

※併せて32〜40ページもご参照ください。

とき ● 1月9日(木)～12日(日)
18時15分～18時50分

ところ ● 聞法会館1階 總會所

講師	
〔第一夜〕	悟林 (奈良県)
9日(木)	眞真 (奈良県)
〔第二夜〕	博幸 (大阪府)
10日(金)	高島 (大阪府)
〔第三夜〕	隆宣 (島根県)
11日(土)	笠原 (島根県)
〔第四夜〕	之哉 (北海道)
12日(日)	龍金 (北海道)

参拝教化部

11日

土

開門 5:00 閉門 17:00

帰敬式 (御影堂)
午前 晨朝後 午後 13:00

6時00分	晨朝	御影堂
8時10分	常例布教	總會所
9時30分頃	御堂布教	御影堂
10時00分	日中法要	御影堂
(約40分)	宗祖讃仰作法	
11時10分	特別講演	總會所
11時30分	第68回本山成人式	御影堂
☆12時00分	御正忌報恩講 京の文化体験 1	お茶所
13時30分頃	御堂布教	御影堂
14時00分	連夜法要	御影堂
(約45分)	正信念佛偈作法 第三種	
15時30分	初夜〔正信偈〕	御影堂
(約60分)	引き続き改悔批判	
18時15分	御絵伝解説〔第三夜〕	總會所
(約35分)		
19時00分	常例布教	總會所

★第68回「本山成人式」

新成人となられたことをご縁として、御影堂にて「本山成人式」を開催いたします。



とき ● 1月11日(土) 11時30分～
[式典・記念法話]

ところ ● 御影堂

聞いて人生を歩んでいくことを奉告する儀式です。

ご一緒にあたたかくお祝いいたします。

寺院活動支援部〈組織教化担当〉

11:10～11:50 特別講演

無我の教え



本願寺派勸学 武田宏道 師

☆京の文化体験 1 置物給付け体験



本願寺の獅子口瓦をモチーフに生まれたキヤラクター「獅子口さん」の白無地の置物に絵付けができる体験です。

とき ● 1月11日(土) 12時～12時30分
※11時より整理券配布(予定)

ところ ● お茶所

参拝教化部

12日

開門 5:00 閉門 17:00
帰敬式(御影堂)
午前 晨朝後 午後 13:00

6時00分	晨朝	御影堂
8時10分	常例布教	總會所
9時30分頃	御堂布教	御影堂
10時00分	日中法要 奉讃大師作法	御影堂
11時10分	特別講演 《業三巻》	總會所
12時00分	御正忌報恩講 京の文化体験 2	お茶所
★13時20分	御法楽献詠入選者表彰式	御影堂
13時30分頃	御堂布教	御影堂
14時00分	速夜法要 浄土法事讃作法	御影堂
(約65分)		
15時30分	初夜〔正信偈 引き続き改悔批判〕	御影堂
(約60分)		
18時15分	御絵伝解説《第四夜》 P.39	總會所
(約35分)		
19時00分	常例布教	總會所

11:10~11:50 特別講演

御正忌報恩講と雅楽



勤式指導所講師
高橋昭人 師



★京の文化体験 2
置物給付け体験

本願寺の軒丸瓦をモチー
フに生まれたキ
ャラクター「の
き丸」の白無地
の置物に絵付け
ができる体験で
す。

とき ● 1月12日(日) 12時~12時30分
※11時より整理券配布(予定)

ところ ● お茶所

☞ 参拝教化部

★御法楽献詠

開法の慶びを和歌に詠む御法楽献詠は、毎年兼題を定め、僧侶・寺族・門信徒の方がたから広く歌を募っております。

今年の兼題は「雲」とし、全国より寄せられた百二十六首の中から次ページの五首が入選いたしました。

ごほうらくけんえい
令和2年 御法楽献詠入選歌

兼題

雲

あかね雲光り輝き鳥は巢に
人は浄土へいざ帰りなむ

福岡県 久保龍子

《評》茜の雲が光り輝く夕暮れ、鳥は巢へと。さて、人はどこへ帰るのか。浄土という世界に仏となつて生れさせていただけの幸せ。

煩惱の雲にかくれしわが心
雲間に見ゆる一筋の道

長崎県 中野みち子

《評》がんのステージⅣを生きる作者。雲間に見える一本の道こそみ仏から授かった命そのものでしよう。ご養生を切に念じます。

み名よべば心に宿る雲晴れて
月光しづかに我を照らせり

熊本県 新道くみ子

《評》ひたすらお念仏申し、心に宿った煩惱の雲が晴れたひととき、浩々とした月の光に照らし出されたのは自らの姿です。

おのずから手を合わせけり西空に
あかねの雲の流れやまずも

宮崎県 馬場陽子

《評》西空を茜色に染まった雲が次々に流れていく荘厳な光景。日々、西方浄土への想いをこめて合掌するおだやかな心ゆえに。

人の世に生まれ消えゆく雲のごと
果てしなき宇宙弥陀のふところ

岐阜県 広瀬久恵

《評》世界のいずこともなく湧いては消える雲。その雲を生死のかたちにとえた雄渾な一首。廣大無辺な宇宙も弥陀の懐にすぎないと。

13日

月・祝

開門 5:00 閉門 17:30

帰敬式 (御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

6時00分	晨朝	御影堂
8時10分	常例布教	総会所
9時30分頃	御堂布教	御影堂
10時00分	日中法要 二門偈作法	御影堂
11時10分	特別講演	総会所
☆12時00分	御正忌報恩講 京の文化体験 3	お茶所
13時20分	第63回全国児童生徒作品展表彰式	御影堂
13時30分頃	御堂布教	御影堂
14時00分	速夜法要 宗祖讃仰作法(音楽法要)	御影堂
15時30分	初夜〔正信偈〕 引き続き御伝記拝読	御影堂
19時00分	常例布教	総会所

11:10~11:50 特別講演

仏道を歩む意味



行信教校講師 山本 攝叡 師

『御伝記(御伝抄)』と『御絵伝』

本願寺第三代寛如上人は、親鸞聖人のご遺徳を讃仰するために、そのご生涯の行蹟を文章と絵で交互に描いた絵巻物をつくられました。『善信聖人親鸞伝絵』あるいは『本願寺聖人親鸞伝絵』などと呼ばれています。

後に多くのご門徒の方がたにご覧いただけるようにと、文章と絵は別々に分けられ、それぞれ『御伝抄』『御絵伝』と呼ばれ、流布するようになりました。阿弥陀堂内陣修復中の御正忌報恩講では、この『御絵伝』(四幅)を御影堂の南余間にお掛けし、一月十三日に『御伝記』を拝読して宗祖のご生涯を偲ばせていただきます。

※本山では『御伝記』、一般には『御伝抄』と呼びます。

☆京の文化体験 3 書道体験

14日

火

開門 5:00 閉門 17:00

帰敬式 (御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

6時00分	晨朝	御影堂
8時10分	常例布教	総会所
9時30分頃	御堂布教	御影堂
10時00分	日中法要 正信念佛偈作法 第三種	御影堂
11時10分	特別講演	総会所
13時30分頃	御堂布教	御影堂
14時00分	速夜法要 大師影供作法	御影堂
引き続き	御俗姓拝読	御影堂
15時30分	初夜〔正信偈〕 引き続き改悔批判	御影堂
19時00分	常例布教	総会所

御俗姓

御俗姓は『俗姓の御文』とも呼ばれ、本願寺第八代蓮如上人が一四七七(文明九)年に親鸞聖人の御正忌報恩講に際してお書きになった御文章です。

前文では宗祖の俗姓を明かし、行蹟を述べられ、後文では報恩講における門徒の心得が説かれ、一念帰命の真実信心を勧められています。



「書いて味わう正信偈」 「書いて味わう讃仏偈」の特製用紙を用いて体験していただきます。

とき ● 1月13日(月・祝) 12時~12時30分

※11時より整理券配布(予定)

ところ ● お茶所

参拝教化部

11:10~11:50 特別講演

親鸞聖人京日記



浪曲師 春野 恵子 師 (曲師 一風亭初月)

16日

木

開門 5:00
閉門 17:00

14時00分 常例布教

13時30分 帰敬式

10時00分 日中法要
(約95分)

9時30分頃 御堂布教

6時00分 晨朝
※午前前の帰敬式は行われません

5時40分迄 通夜布教
P.25

報恩講作法

総会所

御影堂

御影堂

御影堂

御影堂

聞法会館
(2会場)



合唱と、ヴァイオリン・ピアノデュオによる
仏教讃歌の調べをお楽しみください

プログラム

- ◆咲き匂う
- ◆本願力のめぐみゆえ
- ◆たぐいなき
- ◆声
- ◆星の夜 他

※曲目は都合により変更
となる場合があります。



★御正忌報恩講 奉讃演奏会 2020
—通夜布教前のひとときを仏教讃歌とともに—

門前町 いちろく市

とき ● 1月16日(木) 9時~15時 ※荒天中止

ところ ● 第一会場 「伝道院」周辺
第二会場 「龍谷ミュージアム」前
第三会場 「御影堂門」「阿弥陀堂門」周辺

毎月、16日に開催中!
新規出店者募集チーン☆



主催：植柳まちづくり
プロジェクトチーム
✉ usami@shokakudo.jp

第1部・第3部
本願寺合唱団 (指揮 鈴木捺香子)

第2部
ゲスト：ヴァイオリン・ピアノデュオ
「Jion~慈音~」(井石弾、野口志保)

とき ● 1月15日(水)
16時~(約90分)
(開場 15時30分)

ところ ● 聞法会館 3階多目的ホール
(入場無料・自由席)

浄土真宗本願寺派総合研究所



11:10~11:50
特別講演

恩徳讃を頂く



本願寺派布教使
大竹輝道 師

開門 5:00 閉門 19:30

帰敬式 (御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

★19時00分 通夜布教 (16日5時40分) P.25 聞法会館 (2会場)

★18時00分 (約60分) 初夜〔正信偈 引き続き改悔批判〕 御影堂

★16時00分 奉讃演奏会 (17時30分終了予定) 聞法会館

引き続き 二門主様ご親教 手話通訳 御影堂

14時00分 速夜法要 広文類作法 御影堂

13時30分頃 御堂布教 手話通訳 御影堂

★11時50分 講社懇志進納講並びにご消息ご披露式 御影堂

11時10分 特別講演 手話通訳 総会所

10時00分 (約45分) 日中法要 五会念佛作法 御影堂

9時30分頃 御堂布教 御影堂

8時10分 常例布教 総会所

6時00分 晨朝 御影堂

15日

水

とき ● 1月15日(水) 11時50分

ところ ● 御影堂



講社ホームページを随時更新中
です。歴史や年間行事など幅広く
紹介しております。
<http://kousha.hongwanji.or.jp>



参拝教化部

★講社懇志進納講並びに
ご消息ご披露式

本願寺に対し物心両面にわたりご
尽力いただいている本願寺全国講社
連絡会の各講社より、一年間に進納
のあった進納品並びに懇志進納額が
読みあげられ、目録進呈後、一九六
五(昭和四十)年に本願寺第二十三
代勝如上人が発布された「講社への
消息」が披露されます。

阿弥陀堂		白洲特設テントエリア		聞法会館		お茶所		ラスタ
展示	バザー	ふるまい	販売	展示	販売	ワークショップ		
11 第63回全国児童生徒作品展	10 ビハーラ総合施設 パネル展	9 あずき粥接待	8 東日本大震災被災地物産展	7 矯正展(ヘキサピック展) (2会場)	6 人権パネル展	5 聞法会館写真コンクール	4 通夜布教書籍頒布	3 ほつとはあとショップ 結ぶ絆から、広がるご縁へ
								2 子どもたちの笑顔のために募金
								1 ☆御正忌報恩講 京の文化体験
								「西本願寺グランドツアーリング」 「眞宗十派本山報恩講法要巡り」
								スタンプ設置場所...お茶所・龍虎殿
								11・12・13のみ 12:00 ~ 12:30
								15日のみ17:00~19:00 聞法会館1Fロビーで パンの販売もします!
								14:30 ~ 22:10
								10:00 ~ 13:00 9:30 ~ 12:00
								9日(木) 12:00 ~ 16:00 14:00 ~ 17:00
								10日(金) 9:30 ~ 16:00 10:00 ~ 17:00
								11日(土) 12日(日) 13日(月・祝) 14日(火) 15日(水) 16日(木) 9:30 ~ 12:30 10:00 ~ 14:00
								13日のみ 9:30 ~ 16:00
								14日 13:20 表彰式(御影堂)

☆御正忌報恩講 京の文化体験 1・2・3

毎月16日(1月をのぞく)開催しているShinran's Dayの人気企画「京の文化体験」を日替わり内容で開催します。〈各回定員25名程度・11時よりお茶所カウンターにて整理券配布〉

- 11日(土).....置物絵付け体験 (P.18)
- 12日(日).....置物絵付け体験 (P.19)
- 13日(月・祝).....書道体験 (P.21)

参加無料

出来上がった作品はすべてお持ち帰りいただけます!



★つ や ふ きょう
通夜布教



総会所

通夜布教とは、親鸞聖人ご往生の前夜、門弟や縁の深い方々が集まり夜を明かしたことに始まると言われ、現在では1月15日夜から16日早朝に向け、本願寺派布教使が夜通し交代で法話をいたします。

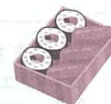
とき ● 1月15日(水) 19時~1月16日(木) 5時40分
ところ ● 聞法会館〈2会場〉
(1階・総会所および3階・多目的ホール)

1階 総会所		時間	3階 多目的ホール	
			全席椅子席	
勤行(正信偈六首引)		19:00~19:30	勤行(正信偈六首引)	
挨拶		19:30~19:35	挨拶	
講師名			講師名	
小林 顯英 (大阪教区 榎並組 法栄寺)	19:50~20:30	日野 宗邦 (国府教区 川東組 福浄寺)	20:30~21:10	
月洞 昇道 (山陰教区 三隅組 禮光寺)	20:30~21:10	橋 行信 (岐阜教区 中川北組 圓勝寺)	21:10~21:50	
岩尾 秀紀 (宮崎教区 高千穂組 浄光寺)	21:10~21:50	小林 顯英 (大阪教区 榎並組 法栄寺)	21:50~22:10	
休憩(20分)		21:50~22:10	休憩(20分)	
日野 宗邦 (国府教区 川東組 福浄寺)	22:10~22:50	月洞 昇道 (山陰教区 三隅組 禮光寺)	22:50~23:30	
橋 行信 (岐阜教区 中川北組 圓勝寺)	22:50~23:30	岩尾 秀紀 (宮崎教区 高千穂組 浄光寺)	23:30~0:10	
米田 順昭 (安芸教区 佐伯奥組 最禪寺)	23:30~0:10	高尾 隆徳 (四州教区 香川南組 妙覚寺)	0:10~0:50	
井上 博雄 (滋賀教区 栗太組 円正寺)	0:10~0:50	永井三樹丸 (長崎教区 諫早組 稱念寺)	0:50~1:10	
休憩(20分)		0:50~1:10	休憩(20分)	
高尾 隆徳 (四州教区 香川南組 妙覚寺)	1:10~1:50	米田 順昭 (安芸教区 佐伯奥組 最禪寺)	1:50~2:30	
永井三樹丸 (長崎教区 諫早組 稱念寺)	1:50~2:30	井上 博雄 (滋賀教区 栗太組 円正寺)	2:30~3:10	
田子 祐子 (新潟教区 巻組 一心寺)	2:30~3:10	安達 秀憲 (高岡教区 川上組 空泉寺)	3:10~3:30	
休憩(20分)		3:10~3:30	休憩(20分)	
大竹 真章 (東海教区 桑名組 聞光寺)	3:30~4:10	岡橋 聖舟 (京都教区 城南組 西方寺)	4:10~4:50	
安達 秀憲 (高岡教区 川上組 空泉寺)	4:10~4:50	田子 祐子 (新潟教区 巻組 一心寺)	4:50~5:30	
岡橋 聖舟 (京都教区 城南組 西方寺)	4:50~5:30	大竹 真章 (東海教区 桑名組 聞光寺)	5:30~5:40	
恩徳讃		5:30~5:40	恩徳讃	

京料理 矢尾定
通夜布教 特別営業

とき ● 1月15日(水) 11時~22時
(売り切れ次第終了)
ところ ● 聞法会館1階和室向い側

- お茶ペットボトル 100円
- おにぎり 200円
- 助六寿司 400円
- ちらし寿司 400円



スタンプラリー

『西本願寺グランドツーリング』『真宗十派本山報恩講法要巡り』

(全国別院巡拝スタンプラリー)

宗門では、全国にある別院や教堂の報恩講スタンプラリーを実施しています。また、真宗教団連合においても、真宗十派本山の報恩講法要巡り(スタンプラリー)を実施しています。

お茶所・安穩殿・龍虎殿にてスタンプ帳を配布しておりますので、是非お立ち寄りください。

グランドツーリング

重点プロジェクト推進室



真宗十派

真宗教団連合 (所務部 (文書担当))

販売

ほっとはあとショップ

〜結ぶ絆から、広がるご縁へ〜

本年も「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) 推進の一環として、障がいのある人たちが中心となって製作した「ほっとはあと製品」を販売するショップを出店いたします。

お店には、おいしいパンやお菓子、生活雑貨等が日替わりで並びますので、皆さまのお越しをお待ちしております。



重点プロジェクト推進室

主催：特定非営利活動法人 京都ほっとはあとセンター
※障がいのある人たちの自立と社会参加を図ることを目的に、京都市・京都市・府内の授産施設や共同作業所が合同で設立した団体です。

後援：浄土真宗本願寺派 重点プロジェクト推進室

日時 法要期間中 10時～17時
※9日は13時から、16日は13時まで

場所 お茶所
※15日(水)のみ17時～19時は
聞法会館1階ロビー(和室前)でパン販売

販売

通夜布教書籍頒布

本願寺出版社が発行している書籍・グッズの頒布をいたします。御正忌報恩講法要期間中、三千円以上お買い上げの方にはオリジナルエコバッグをプレゼントいたします(先着順)。是非お立ち寄りください。

本願寺ブックセンター (安穩殿1階)
法要期間中 9時～17時
※16日は8時から



オリジナルエコバッグ

日時 1月15日(水) 14時30分～22時10分

場所 聞法会館1階 特設ブース

本願寺出版社

募金

子どもたちの笑顔のために募金

宗派では「子どもたちの笑顔のために募金」を進めています。ご参拝の折にお寺などで集められた募金をブ

ース(お茶所内)までお持ちください。ご持参の際には記念品をお渡しいたします。



御正忌報恩講法要へは、ぜひ募金を持ってご参拝ください!

日時 法要期間中 9時30分～15時30分
※9日は13時から、16日は12時まで

場所 お茶所内ほっとはあとショップ横

重点プロジェクト推進室

展示

第2回 聞法会館写真コンクール

宗門の重点プロジェクトのスローガンである「〜結ぶ絆から、広がるご縁へ〜」をテーマとした写真展です。全国の皆さまからご応募いただいたところ温まる作品をご鑑賞ください。

日時 法要期間中

場所 聞法会館1階 総会所横廊下

聞法会館

展示 バザー **10** ビハーラ総合施設

宗門では、平成二十年四月に京都府城陽市に「あそかビハーラ病院（旧クリニック）」並びに特別養護老人ホーム「ビハーラ本願寺」を開設し、仏教と医療・福祉が連携しながら、ビハーラ活動を推進しております。このたび、総合施設の活動をより一層知っていただくためパネル展などを開催いたします。

【パネル展】

緩和ケア病棟である「あそかビハーラ病院」や特別養護老人ホーム「ビハーラ本願寺」の普段の様子について、また総合施設に常駐する僧侶の活動について、写真にて紹介いたします。

日時 法要期間中 場所 阿弥陀堂 外陣

【「ビハーラ総合施設」バザー】

ボランティアによる「ビハーラ総合施設」バザーを開催いたします。収益金は総合施設でのボランティアの活動支援等に使用させていただきます。

日時 1月13日(月・祝) 9時30分～16時 場所 白洲特設テント



JR山城青谷駅から徒歩10分
お車の方は国道24号線よりお入りください

あそかビハーラ病院
城陽市奈島下ノ畔3-3
☎ 0774-54-0120

特養) ビハーラ本願寺
城陽市奈島内垣内1番地
☎ 0774-54-0700



展示 **6** 人権パネル展

宗派が推進する「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)の具体的な取り組みのひとつとして開催しております。

本年は、『子どもの権利』『当たり前』ができる社会に『をテーマに、「当たり前」としてできるはずのことができない子どもたちがいる現実を知り、あらゆる人びとが、生きづらさを感じずに、何の気兼ねもなしに生活することのできる社会となるよう差別の解消に向けてじっくり考えてみましょう。

日時 人権週間(12月4日)～1月16日(木)

場所 聞法会館1階ロビー

社会部(人権問題担当)

展示 販売 **7** 矯正展(キャピック展)

宗門では約三五〇名の教誨師・篤志面接委員が教化伝道および、社会貢献の一環として全国の刑務所や少年院等において宗教教誨や面接活動を実施しています。その様子などを広く知っていただくとともに、処遇および教育の一環として製作される刑務所作業製品(家具・靴・伝統工芸品など心をとめた逸品)の展示販売会を二会場にておこなっておりますので、是非お立ち寄りください。



主催：(公財) 刑務作業協力事業部/
浄土真宗本願寺派/
浄土真宗本願寺派矯正教化連盟
後援：京都刑務所
協賛：刑務作業協賛業者

日時 法要期間中 10時～17時
※9日は14時から、16日は14時まで

場所 白洲特設テントおよび
聞法会館1階 和室(2会場)

社会部(社会事業担当)

展示 **11** 第63回 全国児童生徒作品展

本作品展は、「絵画の部」「書の部」「作文の部」の三部門からなり、全国の幼児、小・中学生から、毎年多くの作品を出品いただいております。

応募作品の中から、「特選」(各部門各学年から1名)を選び、御正忌報恩講期間中に御影堂で表彰します。

なお本年は、去年と同様に、修復中の阿弥陀堂に

おいて、入賞作品を展示しております。全国の子どもたちから応募された力作を是非ご覧ください。

日時 法要期間中
[表彰式] 1月13日(月・祝) 13時20分(御影堂)

場所 阿弥陀堂 外陣

寺院活動支援部(組織教化担当)

8

東日本大震災 被災地物産展

販売

東日本大震災の発生から九年を迎え、復興への歩みが進みつつある中、震災被害の風化が危惧されています。被災地では東京電力福島第一原子力発電所事故の影響などにより、今も避難生活を余儀なくされている方が約五万人にのぼり、未だに様々な困難を抱えています。

また、近年は全国各地で災害が発生し、多くの方が被害に遭われました。

宗門といたしましては、被災地及び被災者支援の取り組みといたしまして、阿弥陀堂前白洲テントにて、被災各県の物産展を開催します。



日時 法要期間中 9時30分～16時
※9日は12時から、16日は12時まで〈売り切れ次第終了〉
場所 白洲特設テント

社会部 〈災害対策担当〉

9

あずき粥接待

ふるまい

ご参拝の皆さまに心身ともに温まっていただけるよう、お仏飯のおさがりと親鸞聖人が好きであったとされる小豆を炊きあげ、あずき粥の接待を行なっております。職員有志にてご提供いたしますので、是非お立ち寄りください。



日時 1月11日(土)・12日(日)・13日(月・祝)
※日中法要後～12時30分〈なくなり次第終了〉
場所 白洲特設テント

親鸞聖人のご生涯 (御絵伝解説)

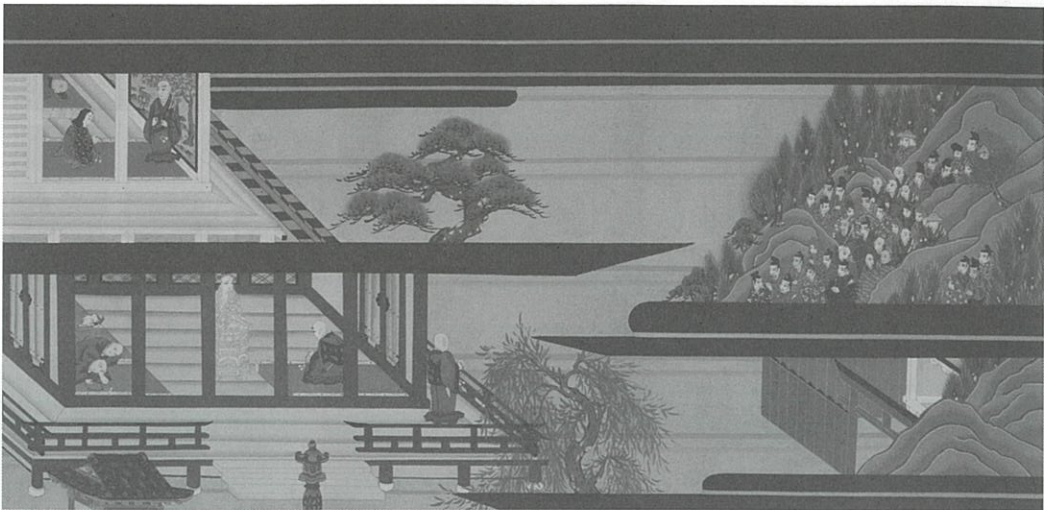
親鸞聖人のご生涯をまとめた絵物語を『御絵伝』といいます。

聖人のひ孫にあたる本願寺第三代覚如上人が、聖人の三十三回忌の翌年にそのご生涯を讃仰するために書かれた、『本願寺聖人親鸞伝絵』(絵巻物)を元にしています。

後にこの『親鸞伝絵』が、文章の部分『御伝記』と、絵の部分『御絵伝』に分けられ、江戸時代になってからは、一般のお寺でも、報恩講(聖人のご命日法要)の際には、『御絵伝』が奉懸され、『御伝鈔』が拝読され、広くご門徒に親しまれるようになりました。

『御絵伝』は、八幅や六幅で描かれているものもありますが、主にお寺で奉懸されるのは、四幅や二幅で描かれているものです。

この『御絵伝』(33〜40ページ)は、平成二十三年(二〇二一年)にお迎えした親鸞聖人七百五十回大遠忌法要を記念して、江戸時代の初めから四百年間、お寺や仏壇に奉懸する掛軸を手掛けてきた繪表所より寄進された、二幅の『御絵伝』を軸の表装から八面の額表装へ改装したもので、龍虎殿一階ロビーにて常時ご覧いただけます。



【出家学道】

(下段・上段左)

承安二年(一一七三年)、今の京都市伏見区日野にお生まれになった親鸞聖人は、治承五年(一一八一年)、御年九歳で、伯父の日野範綱卿に伴われ京都市東山区の慈円和尚(慈鎮和尚)の坊舎(白川房)で、僧侶となる儀式(お得度)を受け出家されました。

夜も近いから、明日来るようにと一旦断りましたが、聖人は「明日ありと 思う心の仇桜 夜半に嵐の吹かぬものは」と歌を詠まれ、その日の出家を許されます。この後聖人は、範宴と名乗られました。

各場面には、咲き誇るその桜、上段左には、白川房の慈円和尚が見守る中、紙燭で手元を照らしながら、剃髪する(髪を剃る)様子が描かれています。

【吉水入室】

(上段右)

建仁元年(一一二〇一年)、二十九歳とられた聖人は、頂法寺(六角堂)の参籠を経て、源空聖人(法然聖人)のもとを訪ねます。聖人が白い衣と袈裟を着けて、源空聖人のもとを訪れている様子が描かれています。

【六角夢想】

(下段・上段右)

親鸞聖人は二十九歳の時比叡山を下りられ、京都市中京区の頂法寺(六角堂)に百日間の参籠をされます。

この絵は、その九十五日目の明け方に聖人が見られた夢の様子が描かれています。

この夢を見られた聖人は源空聖人(法然聖人)のもとを訪ねるご決意をされ、お弟子になられます。

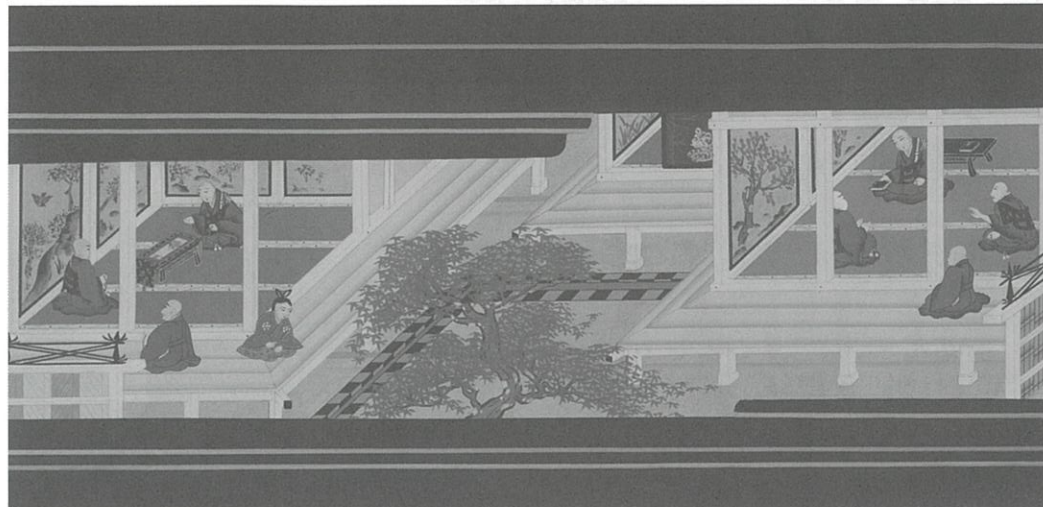
聖人は、お堂の左端で横になっているお姿と、頂法寺のご本尊、救世観音に礼拝されているお姿、東(右)を見られているお姿で描かれています。

【蓮位夢想】

(上段左)

この場面は、親鸞聖人八十四歳の頃に話をうつつし、建長八年(一二五六年)、蓮位という聖人のお弟子が見た夢の様子が描かれています。蓮位は上段左上、眠っている姿で描かれています。

その夢は、聖徳太子が聖人に向かって礼拝されていたという内容でした。このことよって、聖人が阿弥陀如来の化身であることが伝えられています。



【選択付属】

親鸞聖人が、源空聖人（法然聖人）から許されて、「選択念仏集」と源空聖人の絵像を授かっている場面です。聖人はその主著『顕浄土真実教行証文類』の後序で、

元久乙丑の歳（元久二年「二〇五年」）、恩恕（お許し）を蒙りて（受けて）『選択』（選択集）を書しき。

同じき年の初夏中旬第四日（陰暦四月十四日）に、「選択本願念仏集」の内題の字（書物の題名）、

ならびに「南無阿弥陀仏 往生之業 念仏為本」と

「釈 緋空」の字と、空（源空聖人）の真筆（直筆）をもつて、これを書かしたまひき（書いてくださった）。

同じき日、空（源空聖人）の真影（絵像）申し預かりて、図画したてまつる。

と思ひ起こされています。

【信行両座】（下段）

ある時親鸞聖人が、「お浄土へ行くことは、ご信心で決まるか、念仏の行をはげむことで決まるか」お弟子たちに確認した

いと、源空聖人（法然聖人）に相談しました（下段右）。
「ご信心でお浄土へ行くことが決まる」という場所には、はたして数人のお弟子と聖人、駆け付けた法力房（熊谷直実）、最後に源空聖人が座りました（下段左）。

【信心諍論】（上段右）

ある時親鸞聖人が、「源空聖人のご信心と、わたしのご信心は同じです」と話し、お弟子たちに厳しく咎められました。源空聖人は、「ご信心は、阿弥陀如来から賜るもの。同じだから同じお浄土へ行けます」と仰った様子が描かれています。

【入西鑑察】（上段左）

時代は変わって、親鸞聖人七十歳の頃お弟子の入西が、聖人に絵姿をお願いするより先に、聖人がその気持ちを探して、「定禅」という絵師に描いてもらうという「定禅」と言われました（右）。定禅は、「夢の中で描いた生身の阿弥陀如来である僧侶こそ、親鸞聖人でした」と感動の涙を流しながらお姿を描かれました（左）。



【念仏禁止】 (下段右)
お念仏の教えが弘まるにつれ、それまでの仏教諸宗との摩擦が起るようになり、仏教諸宗から朝廷へ、念仏停止の申し出が奏上されるようになります。笏を持った公卿が、門の前に奏上に訪れている様子が描かれています。

【公卿僉議】 (下段左)

念仏停止の申し出を受けて、御所の仁寿殿で行われた僉議の様子が描かれています。

そして承元元年(二二〇七年)念仏停止が決定し、住蓮・安楽など四人が死罪、八人の流罪が決定します。源空聖人(法然聖人)は土佐国(実際には讃岐国)、親鸞聖人は越後国府へ還俗(僧侶の身分の剥奪)の上、流罪となりました。

【師資遷謫】 (上段)

承元元年旧暦三月、源空聖人が旅立たれるところ(上段左)と、親鸞聖人が旅立たれるところ(上段右)です。源空聖人七十五歳、聖人三十五歳、この日を最後にお二人はこの世で再会することはありませんでした。

【稲田興法】 (下段)

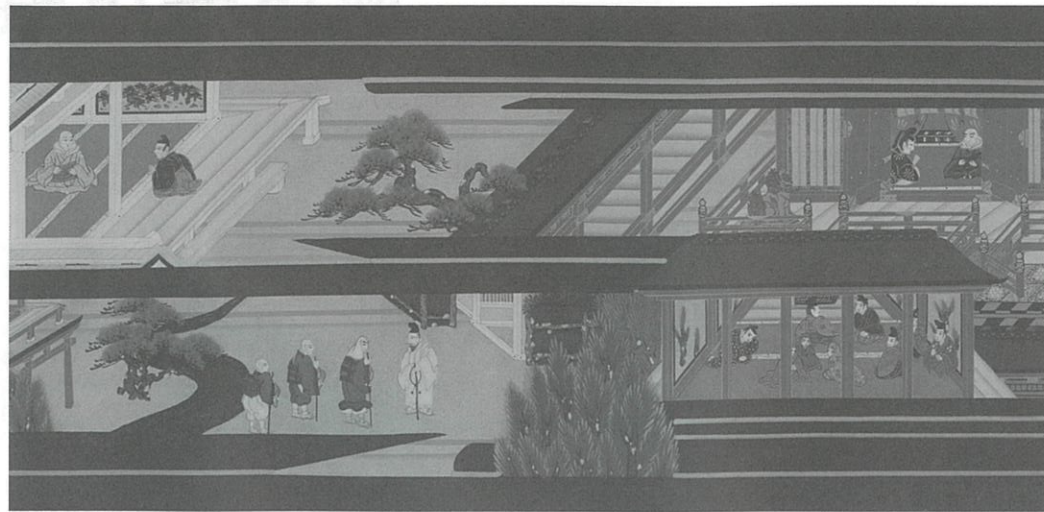
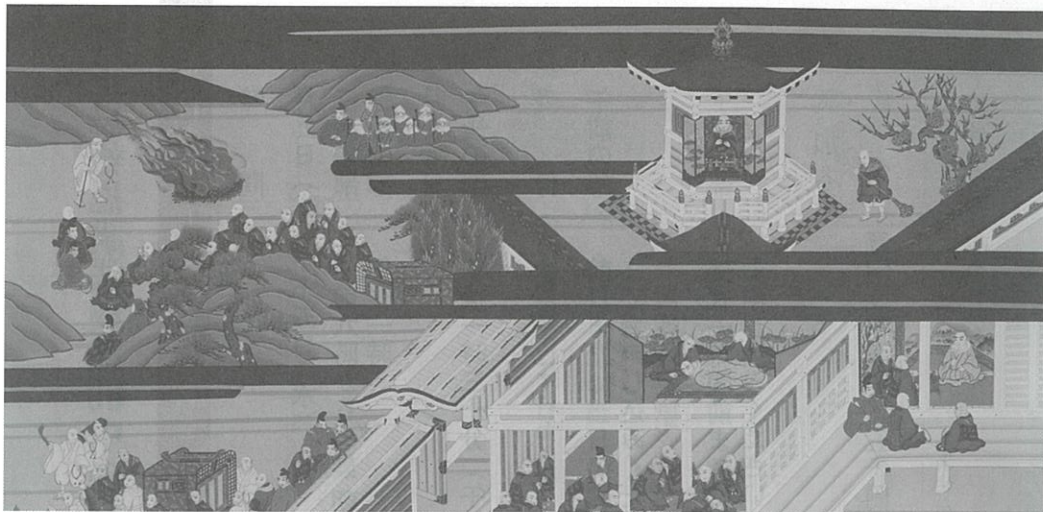
建暦元年(二二一年)、親鸞聖人三十九歳の時、流罪の赦免がくだされ、源空聖人(法然聖人)は赦免の翌年、京都でご往生されます。

聖人の元にもご往生の事は伝えられたと考えられますが、京都へは戻られずに関東へ向かわれ(下段右)、やがて今の茨城県笠間市稲田に草庵を結ばれ、多くの人が参拝するようになります(下段左)。

【弁円濟度】 (上段)

聖人の草庵に多くの人が参拝する様子を快く思わない山伏たちがあらわれ(上段右)、その中の弁円という山伏が、ついに聖人の命を奪わんと草庵に押しかけます。

しかし、聖人の立ち振る舞いを見て、ゆみや、刀を捨てて弟子になりたいと申し出て、聖人から明法房という名を授けられました(上段左)。



【箱根靈告】 (下段左)

親鸞聖人が関東に住まわれてからおおよそ二十年、聖人は京都へ帰られます。その道中、一行が箱根を通りかかったところ、烏帽子を被り衣を整えた箱根神社の宮司が出てきて、「箱根権現(神)が今夢に出てきて、尊敬している方が通るのでもてなしてほしいと願われたので出てまいりました」と、申し出てきます。一行と宮司が話をしているその様子が描かれています。

【熊野靈告】 (下段右・上段)

茨城県水戸市飯富(旧大部)に、お念仏を喜ぶ平太郎という者が住んでいました。その平太郎に大部の領主が、和歌山県の熊野神社に参拝するように命じます。平太郎は、念仏を申す者が、神社に参拝してもいいものかと心配になり、京都の聖人の元を訪ねます(上段左)。聖人は、「阿弥陀如来の誓いに身を任せる者としてお参りすれば、神様を軽んじることにはなりません」と言われ、平太郎はお念仏しながら熊野神社に参拝します。その夜、眠る平太郎の夢に(下段右)、正装した熊野権現(神)と聖人が夢に出てきます(上段右)。

【洛陽遷化】 (下段・上段左)

親鸞聖人は、弘長二年(一二六二年)十一月の下旬体調を崩されます。それ以来、世俗のことは何も仰らずに、ただ阿弥陀如来のご恩と、お念仏が絶えることがなかったそうです(下段右)。そして十一月二十八日、今の暦では二二六三年一月十六日のお昼頃、お釈迦様がお亡くなりになった時と同じように、頭を北にして右脇を下に、西を向いて往生されました(下段中央)。御年九十歳でした。

お弟子たちが茶毘の炎を囲み(上段左)、聖人を偲び、悲しみ涙にくれる様子が描かれています。

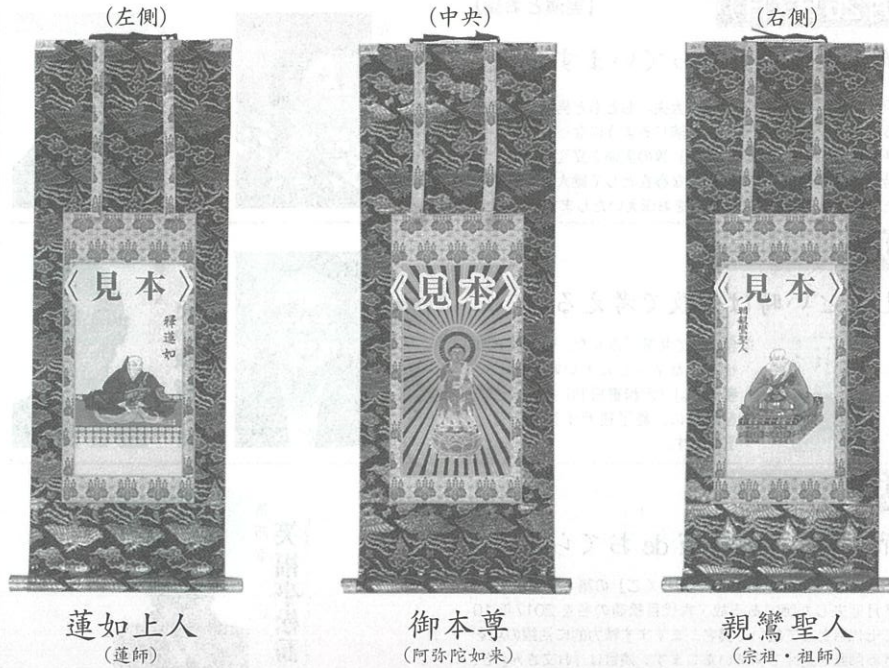
【廟堂創立】 (上段右)

聖人がご往生されて十年後の文永九年(一二七二年)、京都東山の西側の麓、鳥部野の北、大谷にあった聖人のお墓を吉水の北、今の浄土宗知恩院の北あたりに改葬して、お堂を建てて親鸞聖人のありし日のお木像をご安置されました。このお堂が本願寺の起源で、このお木像こそ今の御影堂にご安置されている御真影さまだと伝わっています。

阿弥陀如来さまと歩む生活を

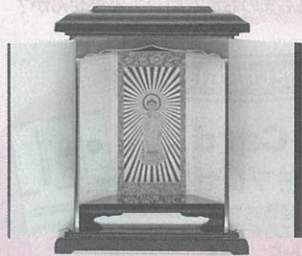
～ご本尊は、本山本願寺から～

龍虎殿（参拝教化部）受付にてお迎えいただくことができます



※上記写真の他に六字尊号（南無阿弥陀仏）、九字尊号（南無不可思議光如来）、十字尊号（南無阿弥陀如来）がございます。

※大きさと表装の違いにより冥加金額が変わりますので、詳しくは参拝教化部（免物係）までお問い合わせください。



いちよう

高さ 24cm
幅 19cm
奥行 9cm

冥加金
¥30,000



きく

高さ 17.2cm
幅 10.3cm
奥行 2.9cm

冥加金
¥20,000

▲持ち運び用の巾着が付属しています

※両方ともに御絵像と六字尊号がございます

参拝教化部

【御正忌報恩講法要期間中の帰敬式のご案内】

当日のお申し込みでも法名をいただくことができます

一、時間

一月九日（木）～十五日（水）

午前の部 午前六時から（朝のおつとめ）に引き続き
午後の部 午後一時

一月十六日（木）

午後の部 午後一時三十分（午前の部は行われません）

二、受付（式は御影堂にて行われます）

午前の部 前日または当日の開門後、龍虎殿（参拝教化部）にてお申し込みください。

※晨朝後、御影堂での受式希望も受付可能です。

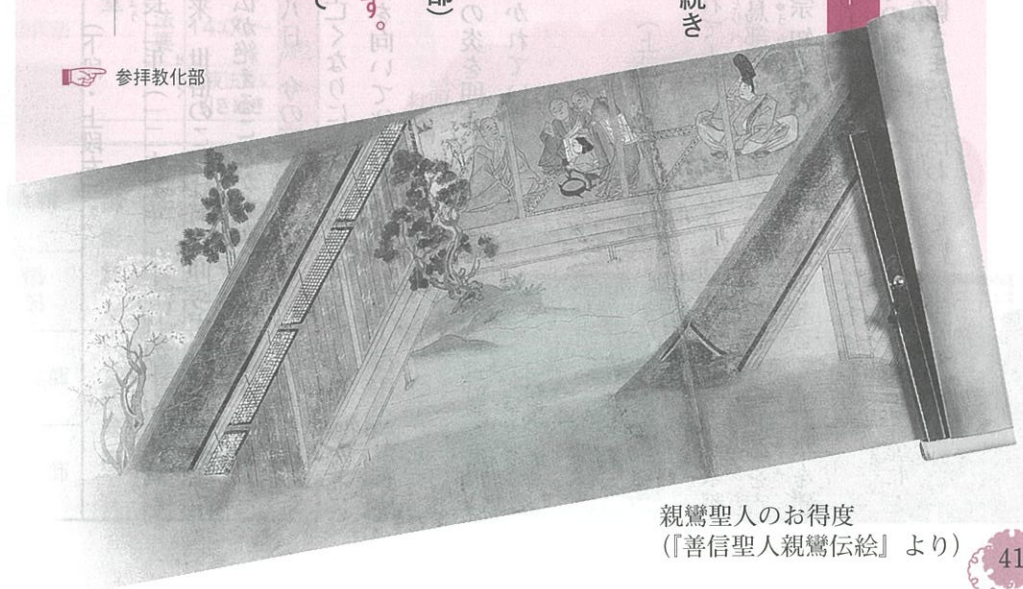
午後の部 受式一時間前までに龍虎殿（参拝教化部）にてお申し込みください。

三、冥加金

成人 一万円（未成年 五千円）

※一月八日（水）については、終日行われません。
※本人以外の受式は認められません。

参拝教化部



親鸞聖人のお得度
（『善信聖人親鸞伝絵』より）


Shinran's Day とは??

本願寺では、親鸞聖人のご命日である、毎月15日・16日に法要（お勤め）を行っています。
特に16日は、より多くの方にご参拝いただきたいの思いから、「Shinran's Day」とし、各種イベントや行事を開催いたします。


皆様のご参拝を心からお待ちしております!!

Events 毎月16日 法要・イベントのご案内 ※1月16日は除きます


法要（お勤め）
しゅうそがつき ほうよう
宗祖月忌法要
毎月15日：14時～14時40分頃（約40分）
毎月16日：10時～10時30分頃（約30分）
場所：御影堂
お経本（フリガナ有）貸し出します!




法話（仏様のお話）
しゅうそがつき ほうわ
宗祖月忌法話
毎月16日：10時35分頃～10時55分頃（約20分）
場所：御影堂
椅子席あります!





京の文化体験 ※先着30名（事前申込不要）
腕輪念珠作り・におい袋作りなど
お茶所で文化体験をしてみませんか?
時間：9時10分～9時45分
場所：お茶所（総合案内所）



参拝ツアー ※要事前申込・有料
法要に参拝した後、親鸞聖人のご生涯を偲ばせていただく機会として、ご旧跡（聖人ゆかりの地）をたずねてみませんか?
申込方法等につきましては、詳細決定後、下記ホームページにてお知らせいたします。



宝書院特別案内 撮影禁止
非公開文化財をご案内します!
受付：当日午前9時～午前10時まで
龍虎殿にて受付後、参拝証をお渡ししますので法要・法話（御影堂）にご参拝ください
時間：11時頃（法話終了後）～12時頃（約1時間）
対象：Shinran's Day 参拝者（参拝証をお持ちの方のみ）

門前町や御影堂門の周辺で「いちろく市」（露店販売）を開催します!!
9時～15時 ※荒天中止



日曜レクチャー〈日曜講演〉

様々な分野でご活躍されている方々のお話を聞いてみませんか?

午前10時30分～〈約70分〉：総会所（聞法会館1階） 入場無料・申込不要



1月26日（日） 【実演とお話】
「女流義太夫を知っていますか？」
江戸時代から続いている女流義太夫。もともと男性の芸能である「義太夫節」をなぜ女性も演じるようになったのでしょうか?関西ゆかりの演目「新口村」等の実演を交え、明治・大正時代には今のアイドルのような存在として絶大な人気を誇った女性ならではの芸能の魅力をお伝えいたします。

女流義太夫 二味線
鶴澤寛也 師
女流義太夫 太夫
竹本士佐子 師


2月2日（日） 【対談】
「しんどい時は仏教で考える。」
※会場にて共著「みんな、忙しすぎませんか?～しんどい時は仏教で考える。」(大和書房刊)を購入の方を対象に、終了後サイン会を行う予定です。

相愛大学教授 大坂 如栄寺住職
釈 徹宗 師
芸人
笑い飯 哲夫 師

3月8日（日） 【落語会】
「第4回 日曜講演 de おてらくご」
毎年大好評の「日曜講演 de おてらくご」の第4回を、2013年7月逝去した師である故・六代目松喬の名を2017年10月に七代目として継いで襲名、ますます精力的に活躍の場を広げる師匠を迎えて開催いたします。演目は「お文さん」と、もう一席は当日のお楽しみです。

落語家
笑福亭 松喬 師




お西さん（西本願寺）ホームページ
<https://www.hongwanji.kyoto>

本願寺のさまざまな情報を随時発信しています。ご参拝にお役立てください。

QRコード 掲載内容

「参る」:「法要・法話日程」や「各種お申込み」など
「知る」:「本願寺の歴史」や「本願寺の一年」など
「観る」:「文化財と見どころ」や「本願寺の仏華」など



お西さん（西本願寺）公式 Twitter
@nishi_hongwanji

法要行事のご案内など本願寺の「今」をお伝えしています。よろしければ、RT、フォローをお願いいたします。



お西さんを知ろう!

本願寺の僧侶「お西のお坊さん」が本願寺の境内をご案内いたします。どなたでもご自由にご参加いただけます。ご希望の方は、下記、開催時間までにお茶所（総合案内所）にお越しください。

- 1回目 9時30分～ 2回目 11時00分～
 - 3回目 13時45分～ 4回目 15時30分～
- 所要時間 約30分

※法要期間中も開催いたします。

参拝教化部

お茶所説法
毎月 第2・4日曜日 次回 1月26日
13:15～13:30 布教研究専従職員 佐竹大智 師
お茶所で仏さまのお話を聞いてみませんか?

ご参加いただいた方には…
オニシ 024Card 全24種
1枚をプレゼント!
本願寺の建造物や埋め木など、見どころを紹介するオリジナルカードです。

どれがもらえるかは楽しみ!



日野誕生院

ひのたんじょういん

【親鸞聖人ご誕生の地】

京阪・地下鉄・JR「六地藏」駅より京阪バス「日野誕生院前」

五月十九日には、聖人六歳のお姿を写した「幼童の御影」を奉懸し、「誕生会」の法要をお勤めいたしております。

上入御影像、そして、聖人の父である日野有範卿の木像がご安置されており、また、境内には、聖人ご誕生の際に使用されたと伝わる「産湯の井戸」などがあります。



京都の東南にあり、まず日野誕生院は、親鸞聖人のご誕生の地であり、本願寺第20代宗主広如上人時代にご誕生の地を顕彰して、お堂が建立されたことに始まります。

平安時代の様式による堂内には、本願寺第23代宗主勝如

住所・電話番号

〒601-1417
京都市伏見区日野西大道町19
電話番号 (075) 575-2258
FAX番号 (075) 575-2241

角坊

すみほぼう

【親鸞聖人ご往生の地】

地下鉄東西線「太秦天神川」駅より徒歩10分／京福嵐山本線「山ノ内」駅より徒歩10分

ご本尊がご安置されている還浄殿は六間四面のひのき造りで、正面欄間には聖人ご往生の様子が彫刻・装飾されており、また、正面の「還浄殿」の額は広如上人のご染筆です。

親鸞聖人七百五十回大遠忌事業の一環として大規模な境内整備が行われ、現在に至っており、六月には『広如忌』の法要をお勤めいたしております。



京都山ノ内にあります。角坊は、親鸞聖人が晩年のお住まいとされた善法坊跡であり、本願寺第20代宗主広如上人時代に「聖人ご往生の地」と定められ、坊舎が建立されたことに始まります。

住所・電話番号

〒615-0091
京都市右京区山ノ内御堂殿町25番地
電話番号 (075) 841-8735
FAX番号 (075) 841-8736

大谷本廟

おおたにほんびょう

【親鸞聖人のご廟所】

京阪本線「清水五条」駅より徒歩約15分

京都東山五条の大谷本廟は、親鸞聖人をはじめ歴代宗主のご廟所(墓所)です。聖人のご廟である祖壇のお側に納骨させていただきたいという思いから、全国の門信徒が納骨をされる場所として、毎日大勢の方々がご参拝され、香煙がたえまません。

大谷本廟の総門(山門)をくぐると、正面に仏殿があります。その奥に、祖壇とその拝堂である明善堂があります。また、廟所の山側には広大な大谷墓地が広がり、聖人が火葬された御茶毘所があります。

大谷本廟は、今も昔も有縁の方々、納骨・永代経・墓参などをご縁としておみのを聴聞される場所です。その由緒を大切にされる多くの皆さまのご参拝を心よりお待ちしております。

なお、大谷本廟では墓地・納骨所の交付を随時行っております。ご希望の方は、大谷本廟までお問い合わせください。

1月9日～16日の無料循環バス時刻表

	本願寺発	大谷本廟発
8	20	35
9	20	35
10	20	35
11	40	55
12	40	※55
13	20	※35
14	20	※35
15	20	※35
16	20	※35

(Aダイヤ)

※については、京都駅付近経由(下車のみ)

天候及び交通渋滞等により発車時刻を変更する場合があります。定員を超えての乗車はできません。予めご了承ください。



めがね橋

お彼岸やお盆・土日・祝日、法要期間中には、本願寺⇄大谷本廟無料循環バスを運行しております。北境内地駐車場に乗降場所がありますので、境内案内図をご参照ください。

1月 総門 無量寿堂

開門(堂) 6:00 8:00
閉門(堂) 17:00 16:30

納骨・読経受付時間

平日 9:00～15:30
土・日・祝 8:30～15:30

住所・電話番号

〒605-0846
京都市東山区五条橋東6丁目514
電話番号 (075) 531-4171(代)
FAX番号 (075) 531-2072
<http://otani-hombyo.hongwanji.or.jp>

本願寺の法要行事日程

元旦会・修正会	1月1日(水・祝)
御正忌報恩講法要	1月9日(木)～16日(木)
第68回本山成人式	1月11日(土)
春季彼岸会	3月17日(火)～23日(月)
〈春の法要〉 第20代宗主広如上人150回忌法要 立教開宗記念法要	4月13日(月)～15日(水) 4月13日(月)・14日(火) 4月15日(水)
誕生会(日野誕生院宗祖降誕会)	5月19日(火)
宗祖降誕会	5月20日(水)・21日(木)
広如忌(角坊)	6月1日(月)・2日(火)
大谷本廟納骨・永代経総追悼法要	6月5日(金)～8日(月)
朝の法座(大谷本廟)	8月6日(木)～10日(月・祝)
盂蘭盆会	8月14日(金)・15日(土)
戦没者追悼法要	8月15日(土)
千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要 (東京・国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑)	9月18日(金)
秋季彼岸会	9月19日(土)～25日(金)
龍谷会(大谷本廟報恩講法要)	10月15日(木)・16日(金)
〈秋の法要〉 全国門徒総追悼法要	11月22日(日)・23日(月・祝)
御煤払	12月20日(日)
除夜会	12月31日(木)

親鸞聖人御誕生850年 慶讃法要
立教開宗800年

Joint Celebration
850th Anniversary of Shinran Shonin's Birth & 800th Anniversary of the Establishment of the Jodo Shinshu Teaching

法要期日

2023(令和5)年	
第1期 3月29日(水)～4月3日(月)	第3期 4月24日(月)～4月29日(土)
第2期 4月10日(月)～4月15日(土)	第4期 5月6日(土)～5月11日(木)
	第5期 5月16日(火)～5月21日(日)

領解文

もろもろの雑行雑修自力のこころをふりす
てて、一心に阿弥陀如来我等が今度の一大事の
後生御たすけ候へとたのみ申して候。たのむ
一念のとき往生一定御たすけ治定とぞんじ、
この上の称名は、御恩報謝とぞんじよろこび
申し候。この御ことわり聴聞申しわけ候事、
御開山聖人御出世の御恩、次第相承の善知識
のあさからざる御勸化の御恩と、ありがたく
ぞんじ候。

この上はさだめおかせらるる御おきて一期
をかぎり、まもり申すべく候。

報恩講の歌

和歌の浦曲の 片男波の
寄かけよせかけ 帰る如く
我世に繁く 通い来り
み仏の慈悲 つたえなまし

一人居ても 喜びなば
二人と思え 二人にして
喜ぶおりは 三人なるぞ
その一人こそ 親鸞なれ

作詞：日曜学校同人 黒瀬智圓
作曲：野村成仁

御正忌報恩講法要期間中の**仏華**と 莊嚴具・御供物の展示

1月9日～12日午前



松(巻真)

べにあかめやなぎ
紅赤芽柳

五葉松

菊

南天

菊

小菊

椿

水仙
(約1500本使用)

笹

(御影堂)

1月12日午後～16日



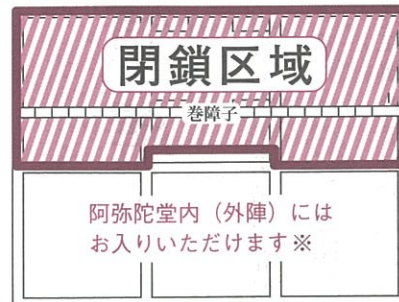
梅(梅真)

(御影堂)

御正忌報恩講法要期間中、阿弥陀堂・御影堂間渡廊下にて、莊嚴具・仏華・御供物等の展示を下記の通り行っております。併せてぜひご覧ください。

(9～12日) 打敷・菊灯・蠟燭立
(13～16日) 仏華、御供物

阿弥陀堂内一部閉鎖について



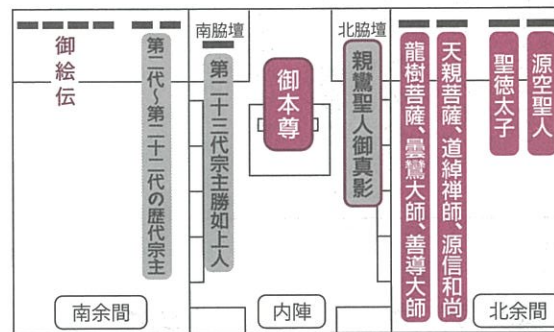
▲阿弥陀堂内図面

閉鎖期間：2022年3月末(予定)まで

現在、阿弥陀堂は堂内前方を閉鎖し、内陣の修復を行っております。修復現場は間仕切り壁にて隔てておりますので、阿弥陀堂内、外陣部分へはお入りいただけます。今回の修復では、極彩色の彫刻、天井画、金箔、鍍金具、漆などを中心に行い、内陣の莊嚴の輝きを取り戻していきます。

※法要期間中は全国児童生徒作品展とビハラー総合施設パネル展を開催中です。

御影堂の莊嚴について



▲御影堂莊嚴図

阿弥陀堂内陣修復に伴って、御本尊を阿弥陀堂から、御影堂内陣の中央へお移しし、親鸞聖人の御真影を内陣中央から北脇壇へお移しいたしました。それに伴い、御影堂の莊嚴を左図のように変更しております。

■ …阿弥陀堂よりご移動
■ …御影堂内でご移動

国宝修復情報 ～阿弥陀堂内陣・飛雲閣・唐門～

国宝の阿弥陀堂、飛雲閣、唐門を修復しております。修復の様子をホームページでぜひご覧ください!!

お西さん 修復情報 検索



▲阿弥陀堂の彩色修理



▲屋根葺替が完了した飛雲閣



▲修理が進む唐門の彫刻

本山振興計画推進事務所

2020(令和2)年1月9日発行
編集・発行/参拝教化部 印刷/株自照社出版

091-1-10-02